

資料

資料 1	横浜市立市民病院再整備検討委員会要綱・名簿	1
資料 2	施設概要	3
資料 3	市民病院建築物定期検査報告書 抜粋	4
資料 4	市民病院狭あい化の現状	6
資料 5	地域医療支援病院平均在院日数・市民病院延患者数推計	7
資料 6	市民病院再整備 部門別面積試算	8
資料 7	区別紹介患者数・医療機関数	9
資料 8	市民病院の退院患者・外来新患者分布	10
資料 9	各候補地と他病院の位置関係	12
資料 10	各候補地基本情報 資料 10-1～5 各候補地の地図	14
資料 11	市民病院・三ツ沢公園が一体となった防災機能強化案について	22
資料 12	現在地建て替えの工程と課題	24
資料 13	市民病院の周辺交通への影響予測	25
資料 14	新桜ヶ丘地区周辺の協議会等	26
資料 15	開発許可基準と新桜ヶ丘地区の接続道路	27
資料 16	津波からの避難に関するガイドライン 別紙 避難区域対象図 抜粋	28
資料 17	横浜市民地震防災情報「わいわい防災マップ」 抜粋	29
資料 18	横浜市農業施策現況図 抜粋	30

横浜市立市民病院再整備検討委員会設置要綱

平成 24 年 5 月 29 日

(設置)

第 1 条 横浜市立市民病院の再整備に関し、横浜市の医療政策やまちづくりなど全市的な視点から議論を行うため、横浜市立病院再整備検討委員会(以下「検討委員会」という。)を置く。

(検討委員会の所掌事務)

第 2 条 検討委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 市民病院の再整備に関する事
- (2) 市民病院の再整備候補地の選定に関する事
- (3) 前 2 号に定めるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項

(検討委員会の組織)

第 3 条 検討委員会は、委員長及び委員をもって組織する。

2 検討委員会の委員長は、健康福祉局医療政策室長をもって充てる。

3 検討委員会の委員は、温暖化対策統括本部長、政策局長、財政局長、健康福祉局長、環境創造局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、病院事業管理者、病院経営局長をもって充てる。

(検討委員会の委員長の職務)

第 4 条 委員長は、検討委員会を代表し、検討委員会の事務を総理する。

(検討委員会の会議)

第 5 条 検討委員会は、必要に応じて委員長が招集し、主宰する。

2 委員長は、第 1 条の目的を達成するため、必要と認めるときは、検討委員会の議事に関係職員を参与させることができる。

(関係課長会)

第 6 条 委員長は、所掌事務を審議するため必要がある場合は、作業部会として関係課長会を置くことができる。

2 課長会は、審議事項に応じ委員長が必要と認める者をもって構成する。

(庶務)

第 7 条 検討委員会の庶務は病院経営局総務部経営経理課において処理する。

(実施細則)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成 24 年 5 月 29 日から施行する。

横浜市立市民病院再整備検討委員会 委員名簿

	役 職	氏 名
委員長	健康福祉局医療政策室長	増住敏彦
	温暖化対策統括本部長	浜野四郎
	政 策 局 長	小林一美
	財 政 局 長	柏崎誠
	健康福祉局長	岡田輝彦
	環境創造局長	荻島尚之
	建 築 局 長	坂和伸賢
	都市整備局長	中田穂積
	道 路 局 長	友田勝己
	病院事業管理者	高橋俊毅
	病院経営局長	城博俊

(平成 24 年 5 月 29 日現在)

施設の概要

資料2

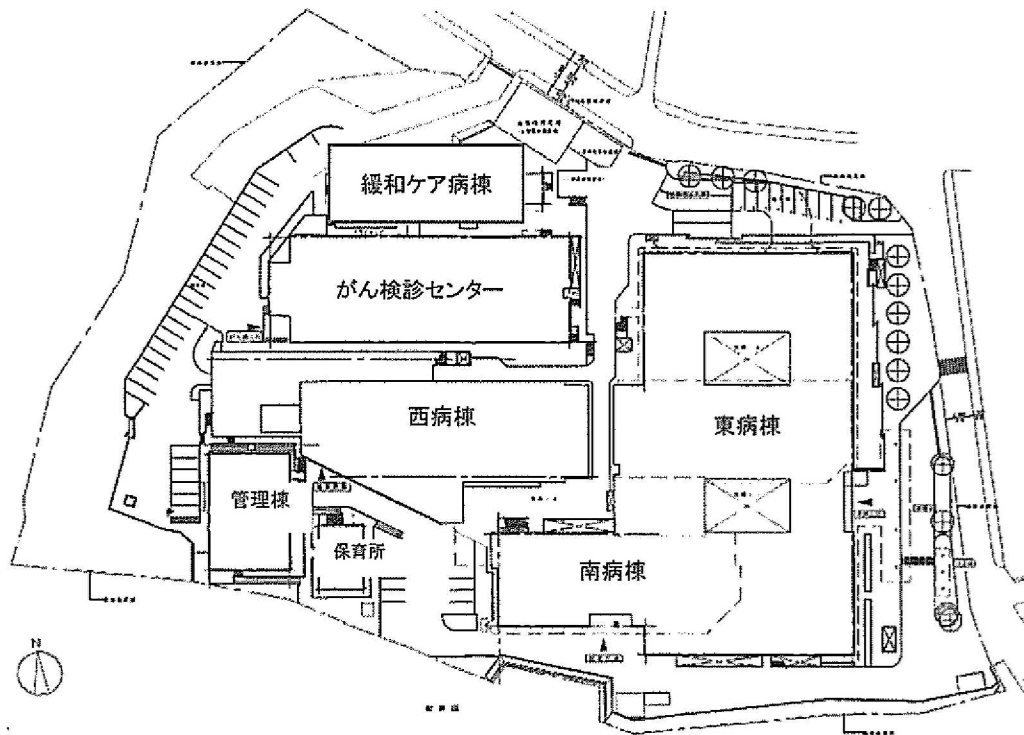
◆所在地

横浜市保土ヶ谷区岡沢町56番地

◆施設の概要




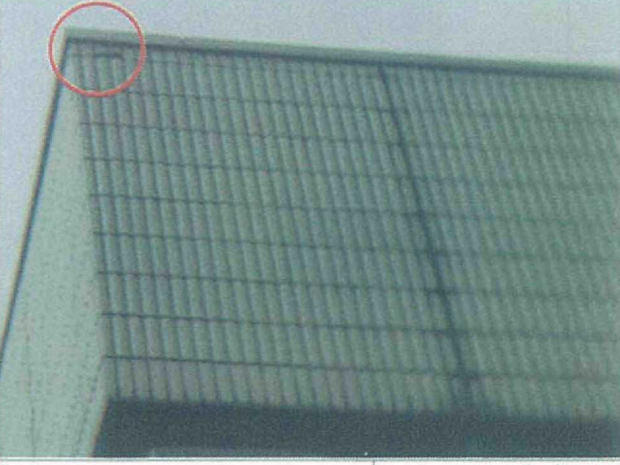
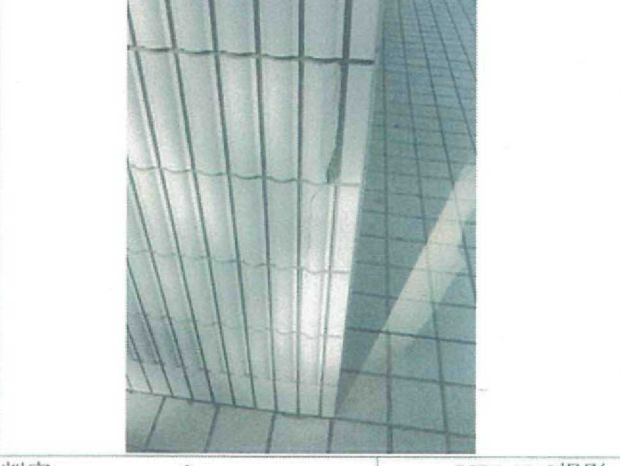

敷地面積	20,389㎡		
延床面積	43,248㎡		
南病棟	17,135㎡	地下3階地上8階	(昭和61年11月竣工)
東病棟	10,322㎡	地下3階地上5階	(平成元年3月竣工)
西病棟	9,119㎡	地下2階地上5階	(平成3年8月竣工)
緩和ケア病棟	716㎡	地下1階地上2階	(平成21年3月竣工)
がん検診センター	4,212㎡	地下1階地上4階	(昭和56年3月竣工)
管理棟	1,166㎡	地上3階	(昭和57年12月竣工)
その他	578㎡		

◆位置図



写真集(南病棟)ー1

B. 外壁関係

<p>南 1 (場所) 塔屋2階 階段室外壁</p> 	<p>南 2 (場所) 8階上部 ハラベット下外壁(X1-Y4)</p> 
<p>判定 A H21.11.4撮影 (状況) コンクリート剥落、鉄筋露出。 130</p>	<p>判定 A H21.11.4撮影 (状況) タイルひび割れ、一部浮き落下の危険性あり。 外壁汚れ。 142</p>
<p>南 3 (場所) 8階上部 西側外壁</p> 	<p>南 4 (場所) 2階上部 東南角外壁</p> 
<p>判定 A H21.11.10撮影 (状況) タイル剥落。 外壁汚れ。 665</p>	<p>判定 A H21.11.5撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 外壁汚れ。 266</p>
<p>南 5 (場所) 1階 南東角外壁</p> 	<p>南 6 (場所) 1階 東南角外壁</p> 
<p>判定 A H21.11.9撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 400</p>	<p>判定 A H21.11.9撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 399</p>

写真集(西病棟) - 14

D. 建物内部

<p>西 79 (場所) 3階 廊下天井 (洗面・洗髪コーナー)</p> 	<p>西 80 (場所) 地下1階 廊下壁</p> 
<p>判定 D H21.11.12撮影 (状況) 漏水跡あり。</p>	<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>
<p>450</p>	<p>450</p>
<p>西 81 (場所) 階段室(東側) 壁(地下2～地下1階)</p> 	<p>西 82 (場所) 階段室(東側) 壁(地下2～地下1階)</p> 
<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>	<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>
<p>456</p>	<p>457</p>
<p>西 83 (場所) 階段室(西側) 壁(4～5階)</p> 	<p>西 84 (場所) 階段室(西側) 前室壁(5階)</p> 
<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>	<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>
<p>388</p>	<p>365</p>



1 地域医療支援病院 平均在院日数

	平均在院 日数※	縮減率
平成18年	14.9	
平成19年	14.9	0.00%
平成20年	14.5	2.68%
平成21年	14.3	1.38%
平均		1.35%

※平成22年度第9回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会資料より抜粋

2 市民病院 延患者数推計

	平均在院日数	DPC退院患者数	退院 患者数		延患者数 (一般病床)	1日平均 患者数
	A	B	C	D	E	F
平成21年実績	13.0	14,612	15,086	96.86%	196,239	538
平成22年推計	12.82	14,839	15,320	96.86%	196,402	538
平成23年推計	12.65	15,036	15,524		196,379	538
平成24年推計	12.48	15,285	15,781		196,947	540
平成25年推計	12.31	15,518	16,021		197,219	540
平成26年推計	12.14	15,751	16,262		197,421	541
平成27年推計	11.98	15,981	16,499		197,658	542
平成28年推計	11.82	16,202	16,728		197,725	542
平成29年推計	11.66	16,416	16,949		197,625	541
平成30年推計	11.50	16,605	17,144		197,156	540
平成31年推計	11.34	16,783	17,327		196,488	538
平成32年推計	11.19	16,913	17,462		195,400	535
平成33年推計	11.04	16,995	17,546		193,708	531
平成34年推計	10.89	17,192	17,750		193,298	530
平成35年推計	10.74	17,393	17,957		192,858	528
平成36年推計	10.59	17,591	18,162		192,336	527
平成37年推計	10.45	17,758	18,334		191,590	525
平成38年推計	10.31	17,893	18,473		190,457	522
平成39年推計	10.17	18,012	18,596		189,121	518
平成40年推計	10.03	18,119	18,707		187,631	514
平成41年推計	9.89	18,212	18,803		185,962	509
平成42年推計	9.76	18,310	18,904		184,503	505
			B÷D	(C÷D)	A×C	E÷365日
推計方法	市民病院平成21年度を基に1による平均在院日数の縮減率(1.35%/年)により推計	平成21年度(7~3月を通年換算)市民病院DPCデータ(疾患別・年齢階層別)より、横浜市人口推計による各階層の人口増減率を乗じ推計	H21年度退院患者数と左記DPCデータによる患者数の差(割合:96.86%)より、各年度の実患者数を推計		左記退院患者数と平均在院日数の推計値を乗じ推計	

市民病院再整備 部門別面積試算

資料6

	現状						増減 (ケース① -現状)		ケース②(将来構想) 将来構想に基づく数量の増加 (網掛け部分が増加部分)				増減 (ケース② -ケース①)	
	面積	数量	単位あたり 面積	ケース①		面積	面積	率	数量	単位あたり 試算面積	備考	試算面積	数量	面積
				現状の設置等を基に単位当たりの 面積について拡張	算出方法等									
病棟部	14,971㎡	650床	23.0㎡/床	31.9㎡/床		20,732㎡	5,760㎡	38%	650床	32.1㎡/床		20,855.7㎡	0床	124㎡
一般病棟 (感染症、緩和 ケア含む)	14,193㎡	610床	23.3㎡/床	31.1㎡/床	☆(病棟部 平均面積)	18,971㎡	4,778㎡	34%	598床	31.1㎡/床		18,597.8㎡	△12床	△373㎡
ICU/CCU (SCU)	425㎡	14床	30.3㎡/床	64.7㎡/床	☆	906㎡	481㎡	113%	17床	64.7㎡/床	SCU設置	1,099.9㎡	3床	194㎡
NICU	68㎡	6床	11.3㎡/床	38.8㎡/床	※1	233㎡	165㎡	243%	9床	38.8㎡/床		349.4㎡	3床	116㎡
救急	286㎡	20床	14.3㎡/床	31.1㎡/床	☆(病棟部 平均面積)	622㎡	336㎡	117%	26床	31.1㎡/床	救命救急セン ター増 床	808.6㎡	6床	187㎡
外来部	2,661㎡			4,730.2㎡	☆	4,730㎡	2,070㎡	78%		4,730.2㎡		4,730.2㎡	0	0㎡
診療部	4,766㎡			8,697.8㎡	☆	8,698㎡	3,932㎡	82%				9,906.0㎡	0	1,208㎡
手術部	976㎡	9室	108.4㎡/室	190.1㎡/室	☆	1,711㎡	735㎡	75%	15室	190.1㎡/室	増設	2,852㎡	6室	1,141㎡
分娩部	112㎡	2室	55.8㎡/室	67.6㎡/室	☆	135㎡	24㎡	21%	3室	67.6㎡/室	増設	203㎡	1室	68㎡
その他 (検査部 門、放射線 部門等)	3,679㎡					6,852㎡	3,173㎡	86%				6,852㎡	0	0㎡
供給部	5,416㎡			7,412.0㎡	☆	7,412㎡	1,997㎡	37%		7,412.0㎡		7,412㎡		0㎡
管理部	4,680㎡			5,885.0㎡	☆	5,885㎡	1,205㎡	26%		5,885.0㎡		5,885㎡		0㎡
共用部	6,302㎡			8,704.4㎡	☆	8,704㎡	2,402㎡	38%		8,704.4㎡		8,704㎡		0㎡
計(除くがん検 診センター等)	38,796㎡	650床	59.7㎡/	86.4㎡/床		56,161㎡	17,365㎡	45%	650床	88.5㎡/床		57,493.2㎡	0床	1,332㎡
対象外面積(が ん検診センター (含む会議室 等)、保育所)	4,461㎡			4,461㎡	現状同面積	4,461㎡	0㎡	0%		4,461㎡	現状同面積	4,461㎡		0.0㎡
合計	43,257㎡	650	66.5㎡/	93.3㎡/床		60,622㎡	17,365㎡	40%	650床	95.3㎡/床		61,954㎡	0床	1,332.2㎡

診療部: 検査部門、放射線部門、手術部門等
供給部: 薬剤部、材料滅菌室、給食部等
管理部: 医局、当直室、会議室、事務室、厚生関係等
共用部: 玄関ホール、地下駐車場等

☆印は「病院の部門別面積に関する研究報告書【(社)日本医療福祉建築協会 刊】」より、
2001年以降に竣工した500床以上の病院平均値(部門別への分割にあたり、全体面積(43,248
㎡)と誤差が生じています)

※1 ICU/CCU部平均面積 × (9㎡【NICU施設基準】 ÷ 15㎡【ICU施設基準】)

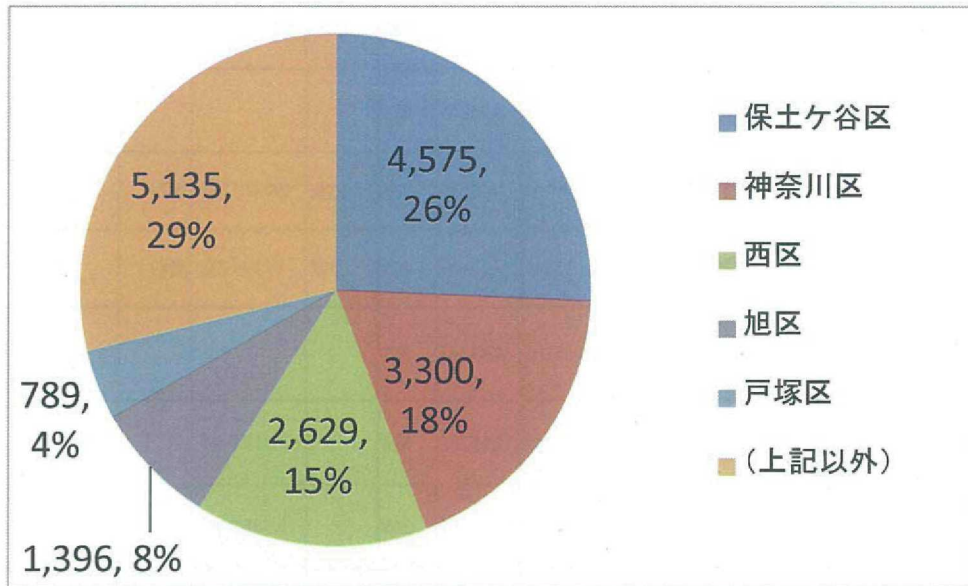
2001年以降に竣工した病院の平均面積を参考にすると、1床あたり186.4㎡(除くがん検診センター)程度となり、現状から4割程度増加することとなる。さらに、将来構想により診療機能を増加させた場合、1床あたり188.5㎡程度となり、1,300㎡程度増加することとなる。

区別紹介患者数・紹介元医療機関数

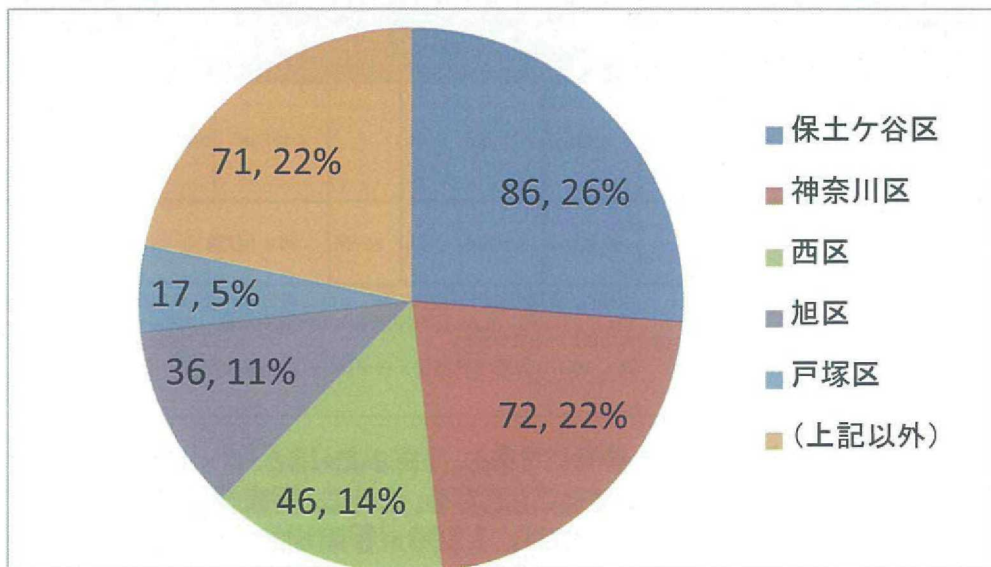
資料7

	紹介患者数		主な医療機関数 (紹介数10以上)	
	紹介患者数	割合	割合	
保土ヶ谷区	4,575	25.7%	86	26.2%
神奈川区	3,300	18.5%	72	22.0%
西区	2,629	14.7%	46	14.0%
旭区	1,396	7.8%	36	11.0%
戸塚区	789	4.4%	17	5.2%
(上記以外)	5,135	28.8%	71	21.6%
(合計)	17,824	100.0%	328	100.0%

(紹介患者数)



(主な医療機関数)



平成23年度 町別(郵便番号別) 退院患者分布

